



上田情報ライブラリー

☎29-0210 火曜日休館

まゆ 繭ホールコンサート

汐入規予 相良博 山田和矢トリオコンサート
 【日時】7月4日(土) 18:45~20:00(受付18:15)
 【出演】汐入規予(ボーカル・アコーディオン)、
 相良博(ギター)、山田和矢(ドラムス)
 【曲目】酒とバラの日々、甘い囁き
 【定員】先着60名
 【料金】1,200円(予約1,000円) ※高校生以下無料(要申込)
 【申込】6月24日(水)以降、電話または窓口で
 【主催】上田図書館倶楽部

ビブリオバトルー小学生の会ー

【日時】8月1日(土) 13:30~15:00
 【内容】本の魅力を紹介し合うコミュニケーションゲームです。今回は小学生を対象に実施します！
 【司会】西入幸代氏
 (上田図書館倶楽部情報サービス部会長)
 【定員】①おすすめ本紹介者5名 ②観覧者15名
 【申込】6月25日(木)以降、電話または窓口で

はじめての生成AI実践セミナー(全2回)

【日時】8月19日・26日の水曜日 両日 13:00~15:00
 【内容】生成AIの基本を学び、暮らしに役立つ使い方を実習します。
 【講師】上田図書館倶楽部情報サービス部会
 【対象】文字入力ができる方
 【定員】貸し出しパソコン利用 先着5名、持ち込みパソコン
 (Windows11搭載)利用 先着5名
 【料金】1,000円(資料代)
 【申込】6月25日(木)以降、電話または窓口で

地域の近現代史講座

【日時】①7月11日(土) ②7月25日(土) 両日 13:30~15:00
 【演題】①長野県民の心を一つにした県歌「信濃の国」の合唱
 ②絵図や伝承にみる信州の災害史 一千曲川と犀川流域ー
 【講師】①小平千文氏(上田・東御・小県地域史連絡協議会会長)
 ②山浦直人氏(長野県立歴史館名誉学芸員)
 【定員】各回先着30名 【料金】各回500円(資料代)
 【申込】6月24日(水)以降、電話または窓口で
 【主催】上田図書館倶楽部

文芸 入選作品

短歌 小宮山 久子 選

先達の仕事の技を偲びつつ裏打の和紙おののぎつはぐ
 冷ゆる夜は母をだきしめそひ寝せし介護の日々が夢に顕ちくる
 わが庭にうすくつもれる初雪がきびしき冬をわれに知らしむ
 十六夜の月の光に照らさるるお堀の桜は今ピンク色
 電極を心臓ほかに付けたるがとらえておるかわが心まで
 七枚の詩画のハガキにふれる度支えてくれる言葉の力

〈選者評・一首目〉 下旬から、作者は掛軸などの修復の仕事をしていると思われる。古い美術品の表装に先輩の仕事の素晴らしさを感じつつ、畏れおののくよな気持ちでその裏打紙を剥いだのだ。真摯な仕事歌である。

俳句 島田 洋子 選

山葵田の飛び散る飛沫四月来る
 老いて尚視野広げたし亀の鳴く
 北風に吹き寄せらるる老い一人
 野遊びの小川をきゅんと跳び越える
 雪柳吹き出すやうに花散らす
 うららかや青きインコの自己紹介
 紅梅や白きアルプス屏風とし
 職人の節太き指路の臺
 啓蟄や畑に幾つもねずみ穴

〈選者評・一首目〉 山葵田の四月頃は鮮やかな緑と白い花が見どころ、そして何となく澄んだ湧き水です。飛び散る飛沫は雪解けの水の勢いを感じます。

川柳 齊藤 俊醉 選

舞扇未来夢見る初舞台
 悲喜こもごも思い出つまる写真帳
 乱気象炬燵で食べる花団子
 譲り合い善意行ったり来たりする
 団子食べついでに掛かる血糖値
 あれそれと会話が増える手の動き
 大丈夫老いは順調医者笑う
 不揃いが詰まる苺の旨きこと
 いい人が耐えてまあるく収めてる

〈選者評・一首目〉 この作品を一読した時、句の力強さに引かれました。上五の「舞扇」が句を纏まごめ上げ、未来は夢でなく必ずや大成功するものと感じました。

小林 隆夫
 滝澤まよ子
 甲田 隆登
 山崎さと子
 竹内 創造
 矢嶋 照子

7月16日(木)必着



投稿フォーム

9月号の投稿方法

- 投稿は、上田市にお住まいの方の未発表作品に限ります。
- インターネットでの投稿は、二次元コードを読み取り、投稿フォームに入力してください。
- はがきでの投稿の場合、種類ごと別々のはがきで裏面に住所、氏名(フリガナ)、短歌・俳句・川柳の別を記入のうえ、〆へ
- 添削を希望する場合は、往復はがきにご自分のあて先を記載のうえ、投稿してください(短歌は2首、俳句は3句、川柳は2句まで)。
- 個人情報、作品の表彰および添削以外には使用せず、選者以外の第三者に提供することはありません。
- 掲載作は、選者が添削して掲載する場合があります。

☎ 文化政策課 ☎75・2005 〒386-8601(住所不要)